

北日本ネットワーク

北海道・東北

JAPAN METAL BULLETIN
Local Network

東北支局

SENDAI

〒980-0804

仙台市青葉区大町1丁目1番8号

第3青葉ビル5階

TEL (022) 223-9032 FAX (022) 211-6860

ウクライナにシェルター

メタルプロダクツが支援

胸縁や母屋など軽量鉄骨加工や二次部材加工を手がけるメタルプロダクツ（本社〓山形県真室川町、渡邊進社長）が取り組んでいるウクライナ支援事業で「モジュール型シェルター」の設計図書が完成した。鉄骨鉄筋コンクリート（SRC）構造によるシェルター設計が、ウクライナでは初という。条件が整い次第、着工可能でウクライナの復興がさらに前進することになる。

SRC造設計図書完成

ウクライナでは現在、学校や病院、行政施設などの公共施設を

新設する際、シェルターの設置が義務付けられている。しかし、既存のシェルターは建設費の高さや工期の長さなどの課題があるという。

これを受けて同社は、ウクライナの専門設計事務所ポルタヴァ・プロジェクトと共同でモジュール型シェルターを開発した。工場での製作と現地での組み立てという日本式プレハブ工法を応用したことで、建設コストの大幅削減と工期短縮な

どを実現。ウクライナの建築基準法に準拠し

ており、国家専門機関による技術証明書も取得している。モジュール型シェルターは、150人、250人、500人の3タイプを標準化し、複数の現地企業と連携することで実際の建設に向けた体制

も整えている。今後、現地での実証プロジェクトを通じて、さらなる改善と標準化を進める考えだ。

渡邊社長は「今回のシェルター設計もウクライナの復興に少しでも役に立ちたいという思いで生まれた。公共施設の建設が進む現地で、シェルターが重要なインフラだ。広く認知され、自治体や企業、国家機関に活用されることを願っている」と話している。



DIGNIFIED SAFETY

Bright, 3 meters high interiors replace bunker claustrophobia with a spacious environment for long-term psychological comfort

モジュール型シェルターの室内イメージ